

定例会見（2025年9月19日）

議事次第

○会見者 代表取締役社長 寺山 徹

○会見内容

1. 民営化20周年を迎えて
2. 災害対応力の強化に向けた取り組み
3. 更新事業の進捗状況
4. 自動運転の普及を踏まえたインフラ支援等に関する取り組みの実施
5. ETC専用化に向けたリニューアル工事の進捗状況
6. 最近の通行台数状況

○配付資料 会見資料、サステナビリティレポート2025概要、
首都高ドライブMAP



1. 民営化20周年を迎えて

[この20年の主な取組]

○基本理念・経営理念のもと、民営化後20年間においても変わらぬ使命を果たすべく、24時間365日、首都高速道路を守り続けている

■24時間365日、安全・安心のための管理運営(道路構造物の維持補修、交通パトロール、事故等処理、問合せ対応 等)により、104.5万台／日のお客さまが首都高速道路をご利用

◆ 道路構造物のきめ細やかな点検と、計画的かつ着実な補修により、日々の安全・安心を確保 【参考資料1】

◆ 事故、故障車、落下物等に対し、迅速に対応し、安全・円滑な交通を確保

歩行者や自転車等の立ち入り、逆走による重大事故への対策を着実に実施 【参考資料2】

◆ 激甚化する災害への対応力の着実な強化により、事象発生時の影響を最小限に 【参考資料3】

■大規模更新・修繕事業の着実な推進で、長期に構造物を健全に保ち、安全・安心な道路を提供

◆ 大規模更新・修繕事業の計画的な実施(「高速大師橋」、「東品川栈橋・鮫洲埋立部」 等) 【参考資料4】

■ネットワークの着実な整備で、より便利で快適に

◆ 中央環状線全通開通、横浜北線、横浜北西線開通等のネットワーク整備や各種渋滞対策の推進により、

渋滞損失時間が約4割減少(※2005年に対する2023年の渋滞損失時間(平日)) 【参考資料5】

1. 民営化20周年を迎えて

[この20年の主な取組]

■きめ細やかな情報発信とPAの改善で、お客さまがより使いやすく

【参考資料6】

- ◆ SNSによる情報発信、道路交通情報アプリ「**mew-ti**」の導入
- ◆ **都市高速の特性を踏まえたPAのリニューアル**、川口ハイウェイオアシス開業

■首都高の技術力、環境施策等で、社会に広く貢献を

【参考資料7】

- ◆ 首都高グループの技術・経験・ノウハウを生かし、国内外で**社会インフラサポート事業**を展開
- ◆ 次世代の都市高速道路への進化に向けた自動運転や先進運転支援システムへの対応
- ◆ 多様な生き物の生育空間を創出した「おおはし里の杜」など各種**環境施策の推進**
- ◆ 「首都高カーボンニュートラル戦略」を策定し、2050年カーボンニュートラル実現に向けた取組



民営化20周年特設サイト

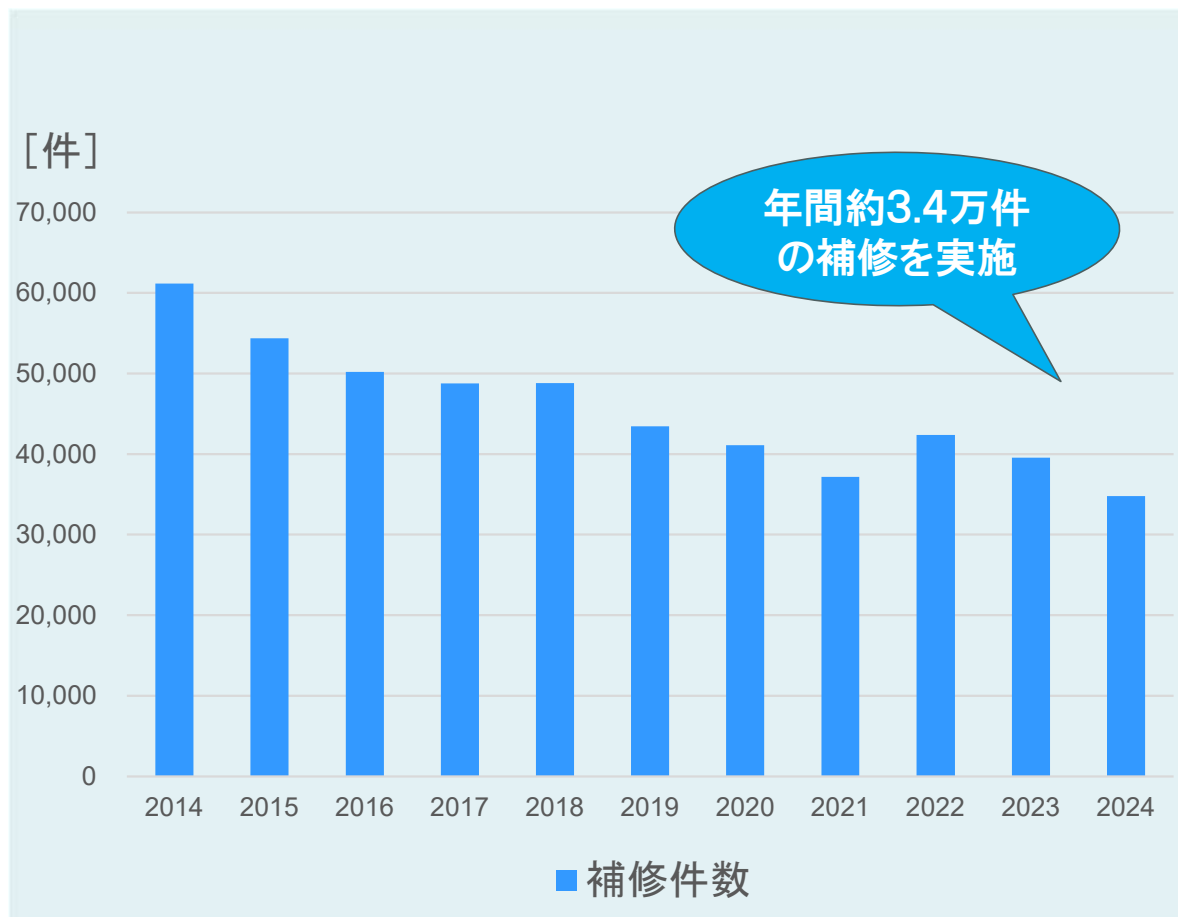
1. 民営化20周年を迎えて

【参考資料1】



きめ細やかな点検／計画的かつ着実な補修

■道路構造物の補修実施件数



■修繕着手済率

(橋梁、トンネル、道路付属物)

		2023年度 実績値
橋梁	着手済率(①/②)	97%
	着手済数①	772径間
	要補修件数②	793径間
トンネル	着手済率(①/②)	100%
	着手済数①	7箇所
	要補修件数②	7箇所
道路 付属物 等	着手済率(①/②)	95%
	着手済数①	20施設
	要補修件数②	21施設

2014(26)年度から当該年度までに判定区分Ⅲ、Ⅳと判定された橋梁等のうち、当該年度までに修繕(設計を含む)に着手した割合

■着実な補修



計画的な舗装補修

1. 民営化20周年を迎えて

【参考資料2】



安全・円滑な交通を確保

■総事故件数



■落下物回収件数



■車両火災件数



立ち入り、逆走による重大事故への対策

■立入・逆走対策



5号池袋線(下) 早稲田出口



6号三郷線(上) 加平出口

・年間400件程度歩行者、自転車、原付(125cc以下の二輪車)が首都高へ立ち入る事案が発生、また、年間2〜3件程度車両の逆走事案が発生

・ハード対策に加えて、立入啓発チラシやポスター、SNSを活用したショート動画による広告啓発等のソフト対策を実施

1. 民営化20周年を迎えて

【参考資料3】



激甚化する災害への対応力の着実な強化

■東日本大震災の対応



液状化による
路面損傷



舗装の補修



取付部材の損傷



取替

■自然災害への対応体制を整備し、関係機関とも連携

○24時間365日グループ会社全体で対応できる体制を構築



2019年台風19号による
飛来物撤去作業状況



2024年大雪時の
除雪作業状況

1. 民営化20周年を迎えて

【参考資料4】



大規模更新・修繕事業の計画的な実施

■ 大型車が非常に多いなど過酷な使用状況

一般道と比べて
約**5倍**の
大型車交通量

貨物車の割合は
約**40%**

1日
約**100万台**
の交通量

■ 構造物の重大な損傷が発見 (羽田トンネル)



腐食、消失した鉄筋



中床版上面のコンクリート剥離

■ 主な更新事業実施箇所



1. 民営化20周年を迎えて

【参考資料6】

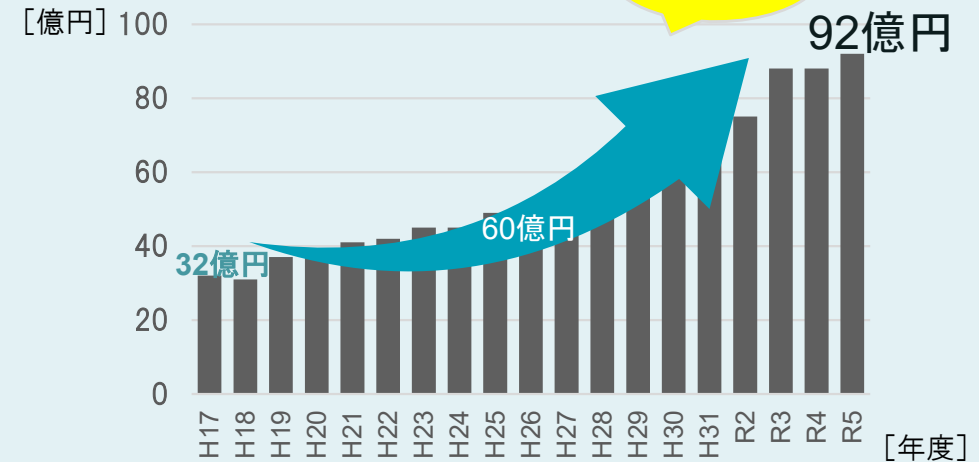


「mew-ti」の導入／都市高速の特性を踏まえたPAのリニューアル

■道路交通情報アプリ「mew-ti」



■関連事業営業収益推移



■首都高初のハイウェイオアシス(HWO)



旧川口PA



川口HWO

1. 民営化20周年を迎えて

【参考資料7】



社会インフラサポート事業／環境施策の推進

■社会インフラサポート事業の展開

- ・北海道エアポートでのインフラパトロール



- ・タイ国における首都高社会インフラサポート事業展開セミナー



■おおはし里の杜



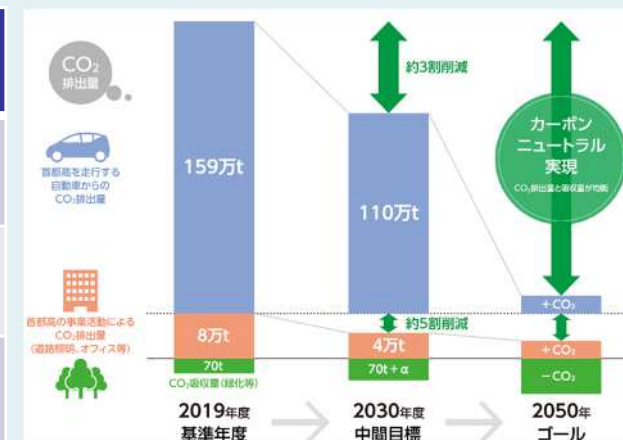
- ・2024年3月
高速道路会社として初めて、環境省の「自然共生サイト」に認定
- ・2024年8月
OECMとして国際データベースに登録
- ・2025年1月
グリーンインフラ大賞の国土交通大臣賞受賞



■首都高カーボンニュートラル戦略(2022年策定)

3つの基本方針

- ①ネットワーク機能強化への新たなアプローチ
- ②社会インフラ企業としての自助努力
- ③グリーン社会との共創（産業界とのコラボ）



2. 災害対応力の強化に向けた取り組み

○首都直下地震等の大規模災害時における**緊急交通路の確保に向けた災害対応力の強化**へ向けて首都高グループ一丸となり、関係機関と連携して取り組んでいる

[現場対応力の強化(道路啓開訓練、地震防災訓練の実施)]

- ①道路啓開訓練 2025.8.27実施(湾岸線杉田高架下)
- 関東地方整備局横浜国道事務所、横浜市をはじめとした**関係機関と連携**
- 実動訓練に先立ち**初動対応合同訓練**(机上)を関係機関とともに実施
- 傾斜を付けた段差や街路接続部における対応などの**難易度を上げた想定にチャレンジ**

■被害想定

首都高上に通行不可区間が発生

■車両啓開

放置車両に大型車を配置⇒より実態に合わせた対応
段差に乗り上げた車両 ⇒ユニックで天秤吊りし排除

■段差啓開

迂回する市道も段差発生⇒横浜市が対応

■ドローン活用

ドローンによる現場状況把握

(首都高と横浜市双方が段差啓開)



(天秤吊りでの車両排除)



(ドローン飛行)



(ドローンによる映像)



2. 災害対応力の強化に向けた取り組み

②地震防災訓練 2025.9.16実施

○想定震度分布を踏まえた、**最大被害を想定**(都心南部直下地震(M7クラス))

○**複合災害**への対処の観点から**首都高全域での停電発生**を想定

■習熟内容

- ◆迅速な点検、道路啓開が実施できるよう実動も含めて手順等を確認
- ◆首都高全域で停電が発生している中で**24時間以内に確実に1車線を確保することの実効性検証**
- ◆復旧計画案策定や優先啓開路線決定に係る手順等も確認

■訓練を踏まえた今後の取組

- ◆**複合災害を想定した訓練**を通して新たな課題を確認
⇒対応案を整理
- ◆道路法改正により法定化された**道路啓開計画策定に向け、関係機関と連携**して検討を進める。
⇒今回の訓練で得た啓開路線確保に必要な知見等を活用

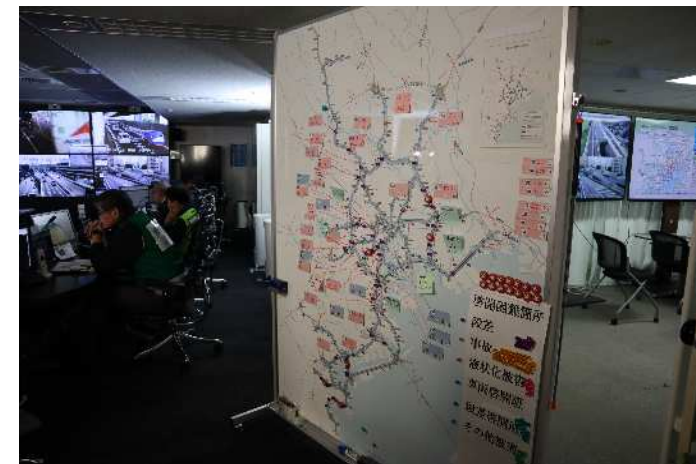
(停電の発生を想定し仮設照明で対応)



(各局とのテレビ会議で状況把握)



(道路啓開路線の検討)



2. 災害対応力の強化に向けた取り組み

〔新技術活用による対応力の強化（ドローン活用）〕

将来構想

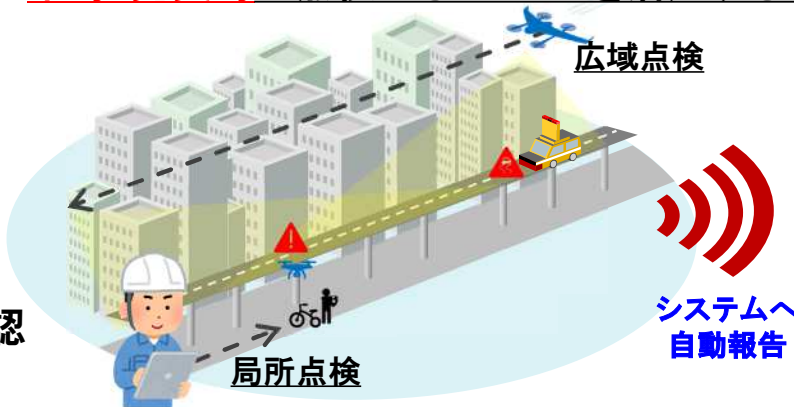
<広域点検>

高速上全域の損傷概況や
交通状況の情報収集

<局所点検>

広域点検を踏まえて、
詳細な点検による状況確認

平時・発災時の点検にもドローンを活用することで、**迅速な状況把握を目指す**



取組状況

接近困難箇所(運河部など)の点検



荒川湾岸橋のドローン点検事例

実動訓練の定期実施(災害支援会社との実証実験)

ドローンポートを活用した自動点検(R5年度事例)



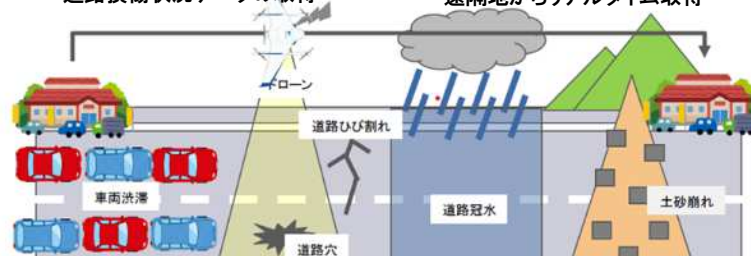
レベル4運行に向けた共同研究(SBIR※)の実施

平時

長距離自律飛行による交通状況、
道路損傷状況データの取得

有事

気象災害/地震等による被災状況を
遠隔地からリアルタイム取得



災害時に段差等で通行できない場合での状況把握が可能

道路維持管理技術



機体開発技術



運行管理技術



横断連携

※SBIR制度(内閣府): 中小企業イノベーション創出推進事業に係る補助対象事業

2. 災害対応力の強化に向けた取り組み

[システム活用による対応力の強化(総合防災情報システム)]

- 基本情報とリアルタイム情報をGIS上で収集・共有し、**情報を一元管理**する機能
- 「現場」と「対策本部」、「関係機関」との**連携向上により、迅速な緊急交通路の確保**
- 一般回線途絶時に備え、①スターリンクの活用、②自営網によるローカルシステムを活用し、**通信の冗長性を確保**



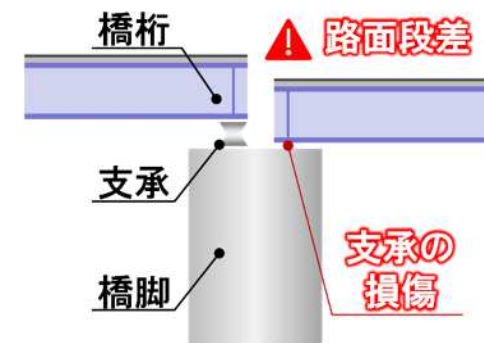
2. 災害対応力の強化に向けた取り組み

OBP支承の耐震補強技術が2025年土木学会田中賞(技術部門)を受賞



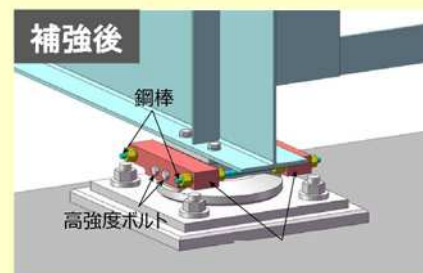
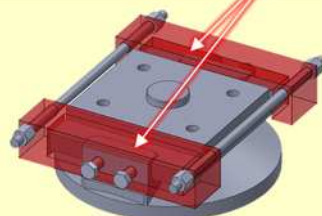
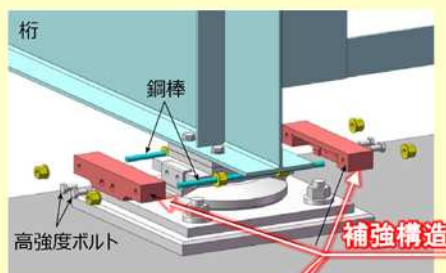
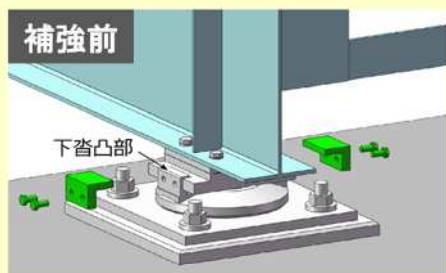
■開発の背景

- ◆ 首都高は大規模地震後に自衛隊や消防等の緊急車両通行路として機能
⇒ 橋桁と橋脚を連結する支承が損傷して路面に段差が生じると通行不能となる
- ◆ 首都圏ではM7クラスの直下地震が切迫（今後30年以内の発生確率70%）
⇒ これまでは耐震性に優れる支承へ交換するしかなかったが、狭隘部での作業となり、多大な時間とコストを要するため、工事が思うように進まなかった



■開発技術の概要

- ◆ 支承を補強することで、**大幅な施工時間短縮と低コスト化(約4割削減)**を実現



2025年10月時点40基設置済み

■今後の展望

- ◆ 大規模地震後、速やかに緊急車両が通行できるよう、**本技術を用いて支承の補強を推進し、首都直下地震への備えを加速します**



路面に生じた段差

出典「道路管理に関するアウトカム指標報告書(H17年度), 東日本高速道路株」



狭隘部での支承交換

3. 更新事業の進捗状況

[東品川栈橋・鮫洲埋立部更新事業]

- ①羽田線(東品川栈橋・鮫洲埋立部)は、1963年に開通。過酷な使用状況や海水面と構造物が極めて近い等の激しい腐食環境などから、コンクリートの剥離や鉄筋の腐食等の損傷が多数発生
- 首都高リニューアルプロジェクトの第一弾として、2016年から更新(造り替え)に着手し、施工時の交通影響を最小限に抑えるため、う回路を設置し、段階的に交通を切り替えながら工事を実施
- 2020年6月の「更新上り線」の完成に続き、この度「更新下り線」が完成。着手から約10年を経て更新(造り替え)が完了
- 更新後は、走行空間を広げたことにより、快適性が向上し、最新技術の導入により、道路の耐久性が向上

<損傷状況>



2016年2月 工事着手



【鮫洲埋立部】



2025年10月 更新下り線完成



【鮫洲埋立部】



3. 更新事業の進捗状況

[東品川栈橋・鮫洲埋立部更新事業]

- 更新下り線工事の完成に伴い、**2025年10月29日(水)午前1時に①羽田線(下り)(東品川栈橋・鮫洲埋立部)の約1.9kmの走行ルート**を新しい道路(更新線)に切り替え
- 今後、羽田線(上り)のう回路から更新上り線への交通切替及び大井JCTのう回路から更新上り線への切替を実施予定

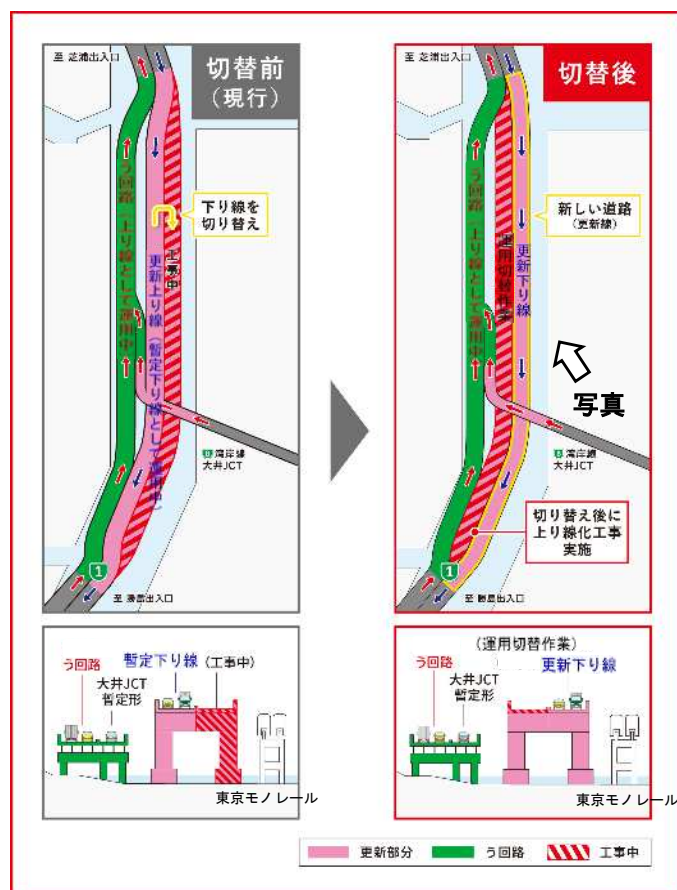


写真 更新下り線工事完了

3. 更新事業の進捗状況

[日本橋区間地下化事業]

- 4月5日より長期通行止め中の高速八重洲線トンネル内にて、**トンネル設備撤去等の準備工**を実施中
- 将来の地下ルートと干渉する都心環状線の既設橋脚を事前に撤去する必要がある、
交通の流れを止めずに撤去が行えるよう、事前に既設上部工を受替える**仮受橋脚工事**を実施中
- 日本橋区間地下化事業と日本橋リバーウォークの**プレゼンテーション拠点「VISTA(ヴィスタ)」**の一般受付を6月16日より開始。多くのご来場をいただき盛況

【街づくりのプレゼンテーション拠点「VISTA」】



首都高地下化・日本橋リバーウォークで
推進される複数の再開発の全体像と工事技術を紹介

※日本橋リバーウォーク

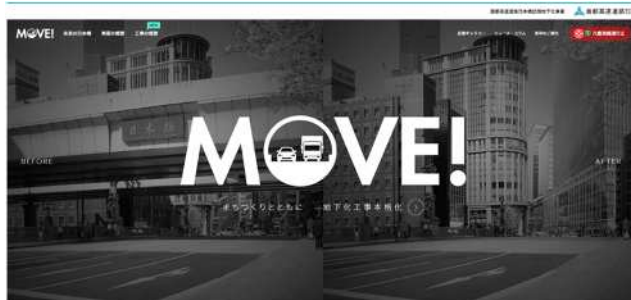
首都高速道路日本橋区間地下化事業と日本橋川沿いの
5つの再開発事業が連携し、官民一体で空と川に開かれた
街づくりを推進しているエリア名称

※VISTA案内サイト

<https://www.shutoko.jp/ss/nihonbashi-tikaka/vista/>



【(参考)首都高の大規模更新事業 特設ホームページ】



首都高 日本橋区間地下化

検索

<https://www.shutoko.jp/ss/nihonbashi-tikaka/>



首都高 東品川・鮫洲更新

検索

<https://www.shutoko.jp/ss/higashishinagawa/>



首都高 高速大師橋更新

検索

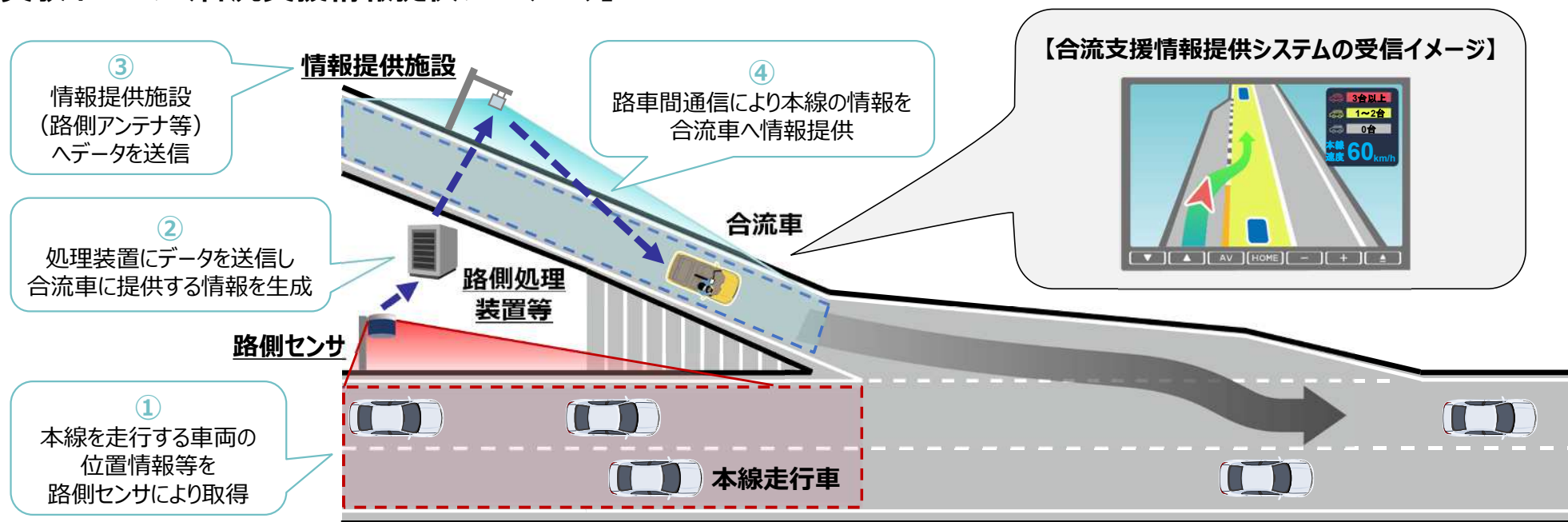
<https://www.shutoko.jp/ss/daishibashi/>



4. 自動運転の普及を踏まえたインフラ支援等に関する取り組みの実施

- 将来の自動運転普及を見据え、自動運転車両が安全に走行できる空間の実現を目指し、インフラからの支援技術に関する共同研究を開始
- 共同研究では、**交通量が多く、合流区間が短いといった首都高ならではの厳しい交通環境**において、自動運転車両の「合流支援」に関する実証実験を実施
- 高精度の路側センサーや路車間通信システム、運転支援システムの研究開発実績のある企業・団体を公募し、**自動車メーカー・センサーメーカー等の8者から応募**があった
- 今後、これらの企業・団体と連携し、自動運転の社会実装に向けたインフラ支援技術の開発を加速

【実験イメージ(合流支援情報提供システム)】



4. 自動運転の普及を踏まえたインフラ支援等に関する取り組みの実施

【実験場所】 4号新宿線(上り) 代々木入口

■位置図



■合流部の特徴

- ・合流区間長が短い(約40m)
- ・カーブが連続していたり、合流車線と本線に高低差がある
⇒視認しづらく、センシングの観点からも難易度が高い

【スケジュール】

- ・共同研究期間：2025年10月 ～ 2027年 3月 (予定)
(うち、現地実証：2026年 9月 ～ 2026年11月 (予定))

■現地写真(代々木入口合流部)



■現地写真(合流車線:代々木入口)



5. ETC専用化に向けたリニューアル工事の進捗状況

- 2025年5月25日から着手し、9月19日現在、15箇所がリニューアル工事を完了し(累計50箇所がETC専用化)、10箇所が工事中、2025年度内に更に30箇所をETC専用化工事予定(累計90箇所)
- 2025年度のリニューアル工事の状況を踏まえ、2028年春までに本線料金所などの一部を除き入口にある料金所のETC専用化を目指す
- ③渋谷線 池尻、⑩晴海線 豊洲、①中央環状線 中野長者橋、⑤川口線 足立入谷、⑧狩場線 石川町の5箇所の入口が**9月27日(土)午前1時**にETC専用入口として**運用開始予定**

2025年4月 工事着手前



2025年9月19日時点



2026年3月末



※対象の料金所は関係機関との協議等により変更する場合があります。

5. ETC専用化に向けたリニューアル工事の進捗状況

- 2025年9月19日現在、**①**上野線 入谷[北上野]、**③**渋谷線 池尻、**⑥**向島線 駒形、**⑩**晴海線 豊洲、**C2**中央環状線 中野長者橋及び王子南、**S1**川口線 足立入谷、**S2**埼玉新都心線 新都心(上)(下)、**K3**神奈川3号狩場線 石川町でリニューアル工事を実施中
- 首都高速道路の入口という、狭隘かつ上空に制限がある現場でリニューアル工事を着実に進めています



料金所全体の機能停止

ETC・空調設備等撤去

料金所ブース撤去

配線敷設・設備基礎等構築

ETC設備・カメラ等設置

動作試験

ETC設備等撤去

空調設備等撤去

料金所ブース撤去

設備基礎構築

ETC設備等設置

5. ETC専用化に向けたリニューアル工事の進捗状況

リニューアル後の料金所の特徴

- ・料金所無人化に伴い、インターホン等を整備し、安定したサービスを継続します
- ・ETCカードの挿し忘れ等で車両停止したお客さまには、追加設置したアンテナで通信処理します※

※遠隔地からETCカード挿入のご案内・通信処理するため、インターホン・アンテナを追加設置

ETC専用入口の表示

- ・ETC専用であることが分かるよう、下図右のような表示を行い、ETC無線通行でご利用いただく必要があることをお知らせしています
- ・ETC専用入口では、現金、クレジットカード等はご利用になれません
- ・誤ってETC専用入口に進入した場合は、Uターンやバック、降車はせず、サポートレーンにお進みいただき、インターホンの呼び出しボタンを押下して係員の指示に従っていただくことになります



誤ってETC専用入口に進入した場合はサポートレーンへ



当面のリニューアル工事予定

予定	路線	料金所
9月29日～11月13日	①都心環状線	飯倉
	⑥向島線	堤通(上)(下)
	⑦横浜北線	新横浜(上)(下)
10月25日～12月9日	①都心環状線	神田橋(内)(外)
	①都心環状線	汐留
	⑤川口線	鹿浜橋(上)(下)
11月14日～12月29日	①1号上野線	上野
	①1号羽田線	勝島
	⑤池袋線	板橋本町(上)(下)
	②中央環状線	船堀橋

※通行止め開始・解除時刻は関係機関との協議、当日の交通状況等により変更する場合があります。通行止め解除日時を変更する場合は、当社WEBサイト (<https://www.shutoko.jp/traffic/control/largeScale/list/>) でお知らせします。

6. 最近の通行台数状況

- 景気の緩やかな回復に伴い、通行台数は引き続き順調に推移
- 天候影響により一部に足踏みがみられるが、概ね対前年比で増加

